

# 大歳青少協だより

令和7年10月  
第72号  
大歳地区青少年健全育成協議会

## 「非行・問題行動に向かう少年の心理について」講演会を開催します

大歳地区の子どもが健やかに成長できる安全・安心な環境づくりに資するため、法務少年支援センター山口から講師をお迎えし、児童・生徒、保護者及び地域住民の皆様が「子どもが非行等に向かうことがないよう地域社会ができること」について学べる講演会を開催します。ご興味のある方は是非お申し込みください！

日時 令和7年12月17日（水） 19時～20時  
場所 大歳地域交流センター 2階 講堂  
主催 大歳地区青少年健全育成協議会  
講師 法務少年支援センター山口（山口少年鑑別所）  
内容 非行や問題行動に向かってしまった子どもたちの生活や精神状態、子どもを犯罪から守るためにできることなど  
対象 小中学生の児童生徒およびその保護者、大歳地区住民など  
定員 50名（先着順になります）  
参加費 無料

申し込みは以下の方法をお願いします。

- ① パソコン（<https://logoform.jp/form/XCim/807344>）
- ② スマートフォン（右の二次元コードから）
- ③ 電話（事務局：083-922-4035）

大歳地区青少年健全育成協議会事務局  
（大歳地域交流センター内）

二次元コード



## 令和7年度青少協の活動

- 5月29日 総会
- 6月 6日 ザ・チャレンジお100姓さん（田植え）
- 7月 5日 地区内の危険箇所点検、周辺の草刈
- 8月 9日 みんな元気！ラジオ体操！
- 8月24日 大歳キッズフェスティバル
- 10月 7日 ザ・チャレンジお100さん（稲刈り）
- 12月17日 講演会

- 広報誌「青少協だより」の発行
- 児童の安全対策の推進（安全マップ作製）
- 各スポーツ少年団、大歳子ども太鼓、大歳ひろめ隊等への活動助成
- 子ども講座（将棋教室）の開催（毎週土曜日【第4土曜日を除く】9:00～11:30）

## 危険箇所看板の清掃と周辺の整備を実施しました

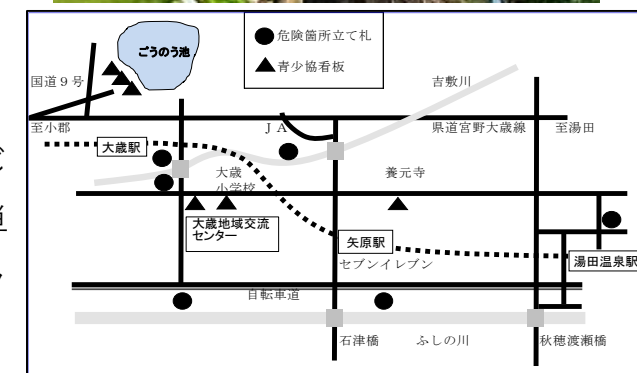
大歳地区内にある危険箇所の看板について、約30名の青少協委員の皆さんにご参加いただき、7月5日（土）に周辺の草刈りや看板の清掃活動を行いました。



大歳地区には、河川や水路、ため池など、注意が必要な場所がいくつかあります。

ため池の周辺では柵などで安全対策が講じられている場合もありますが、一部では簡単に近づけてしまう場所も多く、事故のリスクが高いため注意が必要です。

地域の皆さんで、日頃から温かな見守りを続けていけると安心ですね。



大歳地区青少協が設置した看板の位置図

## 「みんな元気！ラジオ体操！」が実施されました♪

8月9日（土）、朝田神社で「みんな元気！ラジオ体操！」が開催されました。

当日は早朝にもかかわらず、地域の住民や子どもたち30名以上が集まり、広場に元気があふれていました。



ラジオ体操の後は、大歳地区子ども会ジュニアリーダー企画による「ネイチャーゲーム」が行われ、宝探しゲームでは、たくさんのお宝を発見できました。

「ラジオ体操はやっぱり気持ちいいですね」との声が聞かれ、心も体もリフレッシュできた様子でした。

参加者にはジュースのプレゼントがあり、笑顔がいっぱいのイベントとなりました。





## ザ・チャレンジ大歳 お100姓さんを実施しました

大歳地区青少年健全育成協議会では、大歳小学校5年生に田植え・稲刈りの農業体験を提供しています。田植えは6月に、稲刈りは10月に実施しています。  
(このページは、大歳小学校からの「総合的な学習」や「体験レポート」の報告を掲載しています。)

大歳小5年生は、総合的な学習で「日本の米を守るために、私たちにできることは何かを考え、行動しよう」を掲げて学びを進めています。

4月に、総合的な学習の目的と進め方を確認し、「お米」についての関心を高める導入をしました。その上で、調べ学習に取りかかりました。思考ツールを使って「お米について知っていること・調べたいこと」を整理してから、課題設定(歴史・米作り・料理・栄養・国産など、クラスで網羅)を行い、図書室・インターネット・教科書を活用した調べ学習を進めました。

そのレポートをクラス内発表し、米について造詣を深めていきました。



そして、米作りの体験をさせていただきました。児童の感想については、下記の通りです。お世話をしていただいた多田さんのお話の中で、農業の課題として、最近では米不足で価格が高騰し、農業政策の見直しが議論されていることに興味をもった児童がたくさんいました。

さらに、日本の米を守るために必要なことを考え、自分たちにできることを考えて実行しました。全校児童や下級生に向けて、PR動画や紙芝居発表(米の大切さ・給食完食・米食推進など)を作ったり、劇やクイズを披露したりしました。

7月14日(月)6校時に、その様子や結果を田植えでお世話になった方々へ、報告をすることができました。



このような活動を通して、児童は、「田植えを体験して、日本の米の大切さを知った」「自分たちができることを考え、全校や地域に伝えることができた」

「給食を残さず食べることや、米を使った料理を紹介することで、米を守ることにつながると気づいた」などの成果をあげることができました。この学びをさらにつなげて、日本の食と農業の未来について考えていくことと思います。

## 大歳小学校5年生 田植え体験レポート

～ぬかるみの中で見えた、米づくりの大変さと工夫～

ぬかるんだ土に足を取られながらも、苗を一つひとつ丁寧に植える姿は、まるで昔の農家の人々のよう。児童たちは、実際に体を動かすことで、教科書ではわからなかった米作りの苦労と工夫を肌で感じました。



「苗の位置がわからなくなってしまう」「バランスを取るのが難しかった」といった声のほか、「昔の人は全部手作業で植えていたなんてすごい」「機械は便利だけど、出すのも手入れも大変」と、現代の農業との違いにも気づきがありました。



また、米づくりは田植えだけで終わらず、草刈りや水の管理、天候への対応など、1年を通して多くの作業があることも学びました。「年に7回も大きな機械が入る」「台風で苗が倒れないように水の深さを調整する」など、農家の方々の工夫に驚く児童も多くいました。



体験後の感想では、「米が昔は余っていたのに、今は足りないことを知った」「高齢化で米作りが難しくなっていることも考えたい」と未来の米作りに思いをはせていました。

山口市立大歳小学校